



生活に生きがいとうるおいを

屈足地区、新得地区のわすれん塾が開講

屈足地区のわすれん塾開講式が4月19日、小規模多機能センターらで行われ、今年参加の19人が出席。新得地区の開講式は4月20日に保健福祉センターなごみで行われ、今年参加の30人が出席しました。双方の式とも、田中透嗣副町長から「ボランティア、参加者の皆さんで楽しく触れ合って、生活の生きがいとうるおいを深めてもらいたい」とあいさつがありました。

屈足地区の開講式では、始めに佐藤幸子施設長の案内のもと、小規模多機能きらりの見学を行い、その後世界のひろし（山本洋）さんの音楽講座で「春が来た」や「こいのぼり」などの歌をうたいました。リズムを取って、歌を考えて、声を出してといった複数の要素を入れることで脳の活性化を図っています。

新得地区の開講式では、スタッフの香田優一さんから棒を使ったストレッチ、腕や首の体操、バランス感覚を鍛える運動を教えてもらいました。その後、山本さんの音楽講座が行われました。

あまい！おいしい！

屈足保育園児がバナナを収穫



屈足総合会館のロビーにあるバナナの木に実がなり、屈足保育園の園児13人が4月14日、黄色くなった実の収穫を行いました。

この木は平成5年に金徳アヤ子さんより寄贈され、収穫した実は平成14年から屈足の児童にプレゼントされていました。

園児たちは収穫したバナナを「あまい」「おいしい」といいながら夢中で食べていました。

大きさにびっくり！！

新1年生がベアマウンテンを見学

十勝サホリリゾートは、今季のオープンを翌日に控えたベアマウンテンに4月28日、町内の小学校に入学した新得小と屈足南小の新1年生46人を招待しました。子供たちは、放し飼いのエリアに巡回バスに乗って入場し、野生に近いクマの生態を観察。ベアポイントと呼ばれるガラス張りの観察施設では、立ち上がる熊を間近で見て「うわっ、大きい」と体を仰け反らし驚く子供もいました。



話題のアルバム

交通ルールを守る みんなのお手本

新得交通少年団入退団式

新得交通少年団（池田有羽梨団長）の入退団式が4月28日、町公民館で行われました。

式には中学生となり退団した4人（当日1人欠席）と新入団者8人を含む17人の団員が出席しました。

同団運営委員会の小野昭会長と来賓2人があいさつをした後、退団者に記念品が贈られ、代表して高久経さんが「少年団で普段できない体験や多くのことを学んだ。これからも交通ルールを守っていきます」とあいさつ。新入団員に団員章が交付され、これから各種行事を通じて交通安全活動を実施していくこととしています。



決意表明した稲村さん



18人が社会人の仲間入り

あたらしく社会人になるみなさんを歓迎する集い

「新しく社会人になるみなさんを歓迎する集い（23回目）」（実行委員会主催）が4月8日、町公民館で開かれ、この春から町内の7事業所で社会人としての第一歩を踏み出した18人が歓迎と激励を受けました。

新社会人らは、「新入社員の皆さんに・・・」と題して（有瀬上製材所の瀬上晃彦代表取締役の講演を聞いた後、歓迎会に参加し、各々新社会人同士で交流を深めていました。

歓迎会では、石畑政俊実行委員長が「誇りと自信を持って社会に臨んでいただきたい」とあいさつし、浜田正利町長が「人間はミスの積み重ねの中で成長していく。志の高い中でそれぞれの持っている夢に向かって前進していただきたい」と激励しました。

その後、新社会人の一員となった18人一人ひとりが自己紹介と新得でやりたいことや抱負を述べ、最後に新得町役場の稲村隆之さんが「1日も早く社会人としての力を養い、皆さまに喜ばれる仕事をしていきたいです」と力強く決意表明しました。

歓迎会の後には、記念としてしんとく焼きのカップや湯飲みに思い思いの字や絵を描く「記念品制作」も行い、陶芸センターで焼かれた後、新社会人のみなさんにプレゼントされました。



さほろ酒造5周年をお祝い

北海道歌旅「ASIAN PARADICE スペシャルイベント」

さほろ酒造5周年記念として北海道歌旅座「ASIAN PARADICE スペシャルイベント」が4月16日、さほろ蔵ホールで開かれ、約70人の観客で席が埋まりました。

北海道歌旅座は道内179市町村を巡るライブを行っており、全てを巡るまで残り13市町村とせまっています。

今回は、さほろ酒造3周年にも登場した歌手「JUNKO」がライブを行い、観客も手拍子を行うなど、会場全体が一体となったイベントとなりました。

